

* 2025年度以前に履修登録された HJ41（資産運用と金融商品の基礎知識）とは別科目になりますのでご注意ください

専門教育科目 講義科目

授業科目名	資産運用と金融商品の基礎知識	科目コード	配当年次	単位
担当教員	浅田 里花	HJ48	1	2

科目の概要

国や地方公共団体の財政（パブリック・ファイナンス）、企業の財務活動（コーポレート・ファイナンス）のように、個人や家庭の営みにも資金計画の裏付けが不可欠である（パーソナル・ファイナンス）。パーソナル・ファイナンスに関する知識や情報を使いこなすスキル、すなわち「金融リテラシー」を身につけることは、それぞれが描く将来の計画をより確実に実現するために大きく役立つ。

本科目では、身につけるべき金融リテラシーの中でも重視したい「家計管理」と「資産形成」にスポットを当て、家計管理のノウハウと資産運用の基礎知識を学んでいく。

科目の到達目標

- ①資産形成を進めるのに必要な資金を確保するため、家計管理を適切に行うことができる。
- ②金融商品の特性や資産形成を支援する制度について知り、適切に活用することができる。

テキスト

『資産運用と金融商品の基礎知識』浅田 里花, 産業能率大学, 2025年
『資産運用実践 note』浅田 里花, 産業能率大学, 2025年

テキストの読み方

- ①第1章はイントロダクションの位置づけである。金融リテラシーがなぜ必要なのかを確認する。
- ②第2章は家計管理の基本的な進め方と、ライフプランを立てる重要性について理解を深める。
- ③第3章と第4章では資産運用にかかわる基礎知識（経済・金融、金融商品の特性）についての理解を深める。
- ④第5章～第7章では資産形成を支援する制度（NISA、iDeCo）、情報の入手先などについての理解を深める。
- ⑤資産運用実践 note は第2章をサポートするツールとして、それぞれの家計管理に活用する。

単位修得の方法

レポート課題を提出し、60点以上であれば合格となり、科目修得試験を受験できる。科目修得試験の得点が60点以上であれば合格となり、評価が確定し、2単位を修得できる。